

特別展

「映像でみる立山・立山カルデラ・砂防」

2020/2月15日(土)
～3月1日(日)

観覧
無料

ドローンで撮影した常願寺川の砂防施設群や立山の氷河の映像を大画面で上映いたします。



冬の博物館活動報告

はじめての「ブラかんじき」

今冬は、まれに見る小雪で、1月中は雪不足で中止となりました。2月は3回開催し、28名の方に「かんじきハイキング」を楽しんでいただくことができました。

立山かんじきは、雪上を歩くために使われてきた道具で、初心者でも簡単に使いこなせます。登山シーズンにはにぎわう常願寺川河原の駐車場も冬には雪原となり、冬も元気なノウサギやサル足跡がたくさん残されていました。雪は、雑多な色を隠す一方で、野生動物のくらしを浮かび上がらせてくれます。

休憩時間には、みんなで雪のテーブルをつくり、雪解け水が涵養する「熊王の清水」でできた紅茶を味わいました。一服した後は、カンジキの腕試し(あし試し?)です。ノウサギになったつもりで、新雪の上を全力で走りきり、心地よい汗をながしました。



公募写真展

「レンズが見た立山・立山カルデラ

-大地と人の記憶-」

2020/3月7日(土)
～4月12日(日)

観覧
無料

立山のもう一つの表情、立山カルデラ。自然のもつ美しさ、厳しさ、恐ろしさ、人間が立山カルデラに関わってきた歴史、そして人知れず天涯の地にて崩れと闘ってきた人々の想い。立山カルデラはアルペンルートだけでは知ることができない立山の多くの表情を私たちに垣間見せてくれます。しかし、その姿を目前で見ることができるのは、ほんの僅かな人たちだけです。

博物館では、立山カルデラの風景や生き物、自然と調和する砂防えん堤や砂防工事とそれに携わる人々、そして砂防体験学習会参加者の感動の表情を捉えた写真を集め、より多くの方々に立山カルデラに対する理解を深めていただくべく写真展を開催いたします。

この機会に是非、立山カルデラの魅力をご堪能下さい。

